

## R3 年度 第 2 回 介護・医療連携推進会議

定期巡回・随時対応訪問介護看護 生協かんおん 24 2022 年 3 月 30 日  
生協かんおん夜間対応ヘルパーステーション

### 1. 2021 年 11 月～2022 年 3 月利用実績状況

#### ■定期巡回・随時対応型訪問介護看護

・2021 年 11 月 11 件(新規 1 中止 1 問い合わせ 5 )

介護度別延べ訪問回：介 2/3 件/117 回 ・ 介 3/3 件/432 回 ・ 介 4/4 件/218 回

介護度別平均滞在時間：介 2/11:17 ・ 介 3/13:56 ・ 介 4/15:18

随時対応 21 回 随時訪問 3 回(2 名)

・2021 年 12 月 9 件(新規 2 中止 2 問い合わせ 2 )

介護度別延べ訪問回：介 2/2 件/124 回 ・ 介 3/4 件/472 回 ・ 介 4/3 件/350 回  
介 5/1 件/30 回

介護度別平均滞在時間：介 2/10:16 ・ 介 3/12:27 ・ 介 4/17:30 ・ 介 5/14:10

随時対応 6 回 随時訪問 12 回(4 名)

・2022 年 1 月 8 件(新規 1 中止 2 問い合わせ 6 )

介護度別延べ訪問回：介 2/2 件/124 回 ・ 介 3/3 件/257 回 ・ 介 4/2 件/354 回

介護度別平均滞在時間：介 2/10:02 ・ 介 3/13:04 ・ 介 4/17:27

随時対応 13 回 随時訪問 20 回(3 名)

・2022 年 2 月 10 件(新規 2 中止 1 問い合わせ 4 )

介護度別延べ訪問回：介 2/2 件/112 回 ・ 介 3/3 件/234 回 ・ 介 4/4 件/286 回

介護度別平均滞在時間：介 2/10:02 ・ 介 3/13:04 ・ 介 4/17:27

随時対応 19 回 随時訪問 16 回(2 名)

・2022 年 3 月 9 件(新規 1 中止 1 問い合わせ 3 ) 3/24 までの利用状況

介護度別延べ訪問回：介 2/2 件/124 回 ・ 介 3/3 件/288 回 ・ 介 4/4 件/342

介護度別平均滞在時間：介 2/11:17 ・ 介 3/13:56 ・ 介 4/15:18

随時対応 18 かい 随時訪問 2 回(2 名)

・依頼居宅 他居宅 3 事業所 ・連携訪問看護 他訪問看護 3 ステーション

#### 広報活動

地域の居宅介護事業所への広報・周知活動行い、利用状況・空き時間・ニーズの説明をした。

# 夜間対応型訪問介護とは？

生協かんおん夜間対応ヘルパーステーション

## \*どんなサービス？

- ・夜間対応型訪問介護とは夜間に訪問介護が受けられるサービスです。
- ・ヘルパーによる定期巡回と随時サービス、オペレーションサービス。
- ・オペレーションサービスとはヘルパーの派遣や救急車の手配などをするサービスです。
- ・サービス時間は 18 時～翌朝 8 時まで。
- ・夜間の緊急時にすぐ連絡可能。(通報機器貸与)

### 定期巡回では

- ・安否確認 ・排泄介助 ・オムツ交換 ・体位の変換など

### 随時対応では

- ・夜間に体調が悪くなったときや、転んでしまった時などにオペレーターに連絡するとヘルパーが訪問して救急車の手配などを行います。

1 人暮らしの方には、排泄介助・寝返り介助・オムツ交換・ベットメイク・室温調整

安否確認などを行うので、要介護状態でも一人暮らしが可能です。

家族の代わりに夜間介護を依頼して家族の負担を減らしたい時などにも利用できます。

サービス提供時間内(18 時～翌朝 8 時)であれば複数回利用可能ですが、訪問回数分の費用が掛かります。

## \*では、時間外はどうなるの？

- ・時間外はサービスを行う事はできません。その場合一般的な訪問介護を利用することが必要になります。
- ・日中でも利用できるオペレーションサービス 24 時間通報対応加算で対応。ただしヘルパーステーションとの契約が必要になります。

## 2022 年 4 月より、定期巡回生協かんおん 24 と中央ヘルパーステーションが一体的運用開始

- ・生協かんおん 24 のスタッフと中央ヘルパーステーションのスタッフが、それぞれの働き方で互いの業務を手伝う、互いに助け合いながら利用者の在宅を支えます。
- ・夜間は生協かんおん 24 のスタッフ、日中は中央ヘルパーステーションのスタッフが訪問します。時には日中生協かんおん 24 のスタッフが中央ヘルパーステーションのスタッフとして訪問することができます。すでに生協かんおん 24 のスタッフは、中央ヘルパーステーションのスタッフとして日中の随時対応も行い、カバーしています。このように少しずつ互いに交わりながら利用者の在宅を支えます。

## 2. 苦情

・1件 サービスに対しての苦情

近隣の駐車場が埋まっており路上駐車で行った。時間が気になり焦ってサービスを行った。

### ■夜間対応訪問介護

	11月	12月	1月	2月	3月	
利用者数	4	5	6	7	7	
定期訪問	0	0	1回	46回	0	
随時対応	1回	1回	4回	7回	6回	

定期訪問の平均滞在時間：15:15 随時対応平均滞在時間：14:10

定期訪問 随時対応内容：排泄処理・内服確認・安否確認・食事確認・転倒時対応・水分補給  
依頼居宅 他居宅 3件

1月2月3月の随時対応は、中央ヘルパーステーションと連携し、24時間随時対応を行いました。

## 3. 事例紹介（夜間対応 看取り）

利用者様 B様 女性 71歳 介護2

家族状況 : 自宅(一軒家)独居。別居の夫が中区在住

現病・既往歴 : 肝臓癌 肺がん 在宅酸素使用

支援内容 : リハパン交換・内服確認・水分摂取・安否確認・食事セット

サービス時間 21:30頃 5:30頃

カンファレンス : 末期がんでいつどうなってもおかしくない。服薬、水分摂取、本人が食べたいものを提供(果物・飲み物・菓子など)リハパン交換、バイタルチェック、主には安否確認目的で訪問。日中は家政婦が入り夜は1人になるため、毎日の夜間対応で利用開始となる。

支援経過と  
終了の経緯 : バイタルチェックしパット交換はご自身で出来ていた。食べたいもの、飲みたいものを指定され提供した。時に意識もうろうとされ意思疎通ができないこともあり、状況を訪問看護連絡し指示を受けた。利用開始から15日経過したところでADL低下、意識混濁し服薬が困難になりつつあり早朝のサービスも追加になった。その後はご家族が交代で泊まり、様子を見守り25日目の早朝夫に見守られながら永眠された。

振り返り : 終末期で夜間・早朝のサービスの為、訪問看護との連携がスムーズに取れることが介護者にとって安心材料になります。このたび連携ノートはなかったものの、体調・薬に関する情報をこまめに連絡頂きました。ご家族からはサービスがあることで安心して見守ることができた。とおっしゃっていただきました。